

2015 年度九州沖縄地区合同シンポジウム（開催予告）  
「海洋表層の物理過程と海洋生態系・水産資源」

共 催：一般社団法人水産海洋学会・日本海洋学会西南支部

日 時：2015 年 12 月 11 日 10:00～17:00（予定）

場 所：長崎大学

コンビーナー：万田敦昌（長崎大学大学院）・山田東也（西海区水産研究所）

**開催趣旨：**海洋表層における放射・流動・乱流混合などの様々な物理過程は、海洋低次生態系の動態を規定する主要因であり、また水産資源の変動に対しても極めて大きな影響を及ぼす。近年の技術革新により、これら物理過程を研究するための観測技術およびシミュレーション技術は長足の進歩を遂げ、数多くの観測・シミュレーション結果が報告されている。今後、海洋表層の物理過程が低次生態系に及ぼすメカニズムを解明し、将来の水産資源変動の予測に資するためには、これまで得られた様々な研究成果を統合していくことが必要不可欠であるが、これまでのところ、分野の細分化や限定的な研究者間の交流などが影響し、関連する分野間の交流が進んでいない。本シンポジウムは、そのような現状を打破する一助となることを目的としている。放射・流動・乱流混合のような海洋表層の物理素過程を研究する上で現在何が課題となっているのか、また、海洋低次生態系ならびに水産資源の変動を理解し予測する上でどのような物理学的・生物学的情報が不足しているのか、関連分野の研究者が一同に会して議論し、今後の研究の進展に役立てたい。素過程の理解のための現地観測、統合化・将来予測に不可欠なモデリング、どちらの視点も議論を深めるために必要不可欠であり、双方の観点からの意見交換の場となることを期待している。

**基調講演：**1 題，30～40 分程度

**一般講演：**8～10 題，15～20 分程度（講演者数により変更する場合があります）

**参加登録料：**無料

**一般講演の募集要領**

◇**締 切：**2015 年 9 月 24 日（木）必着

◇**必要事項：**講演題目，講演者所属・氏名，100 字程度の要旨（E-mail，Fax 可）

・一般講演の採否結果は、9 月末までに通知します。

・メールアドレスをお知らせ下さい。

◇**申込先：**〒852-8521 長崎市文教町 1-14

長崎大学大学院 水産・環境科学総合研究科 万田敦昌

電話&FAX: 095-819-2810

E-mail: [manda@nagasaki-u.ac.jp](mailto:manda@nagasaki-u.ac.jp)

## 講演要旨

◇締切：2015年11月13日（金）必着（送付先は講演申込先と同じ）

◇書式：日本海洋学会の研究発表大会時の講演要旨に準ずる。

- ・ワードプロソフトを用い、A4判用紙2枚以内。
- ・マージンは、上下に30mm、左右に20mmで設定。
- ・研究題目、発表者、所属、キーワードを上段（30mm程度）に記入。
- ・本文は2段組が望ましい。